

事業所名 **ふあんふあん** 支援プログラム (参考様式) 作成日 令和6年 12月 28日

法人 (事業所) 理念	家庭的な環境の中で子どもたち一人ひとりの個性を大切に、ゆったりとした時間を一緒に過ごします。遊びの中で社会生活のルール・マナーの向上を目指します。学校がお休みの日には外遊びを取り入れストレス発散の方法等も一緒に考えていきます。		
支援方針	あいさつやマナーなど日常生活の基本的な習慣を身につけます。集団で遊ぶことで協調性や思いやりなど、心の成長を育てていきます。遊びの中で興味を促し、一人ひとりの持っている能力を引き出していきます。		
営業時間	学校終了後 14時00分から 18時00分まで	送迎実施の有無	あり
	学校休業日 9時00分から 16時00分まで	※日曜日・8/13~8/15・12/30~1/3は休業日です	
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	来所時、送迎時に保護者や学校に体調の確認を行い、職員に共有します。事業所到着後に検温を行い、体調の管理の意識づけていきます。事業所到着後や食事の際など、複数回、手洗いや消毒を行い、病気予防を意識づけていきます。身だしなみや食事マナー、トイレトレーニング、歯磨き等、基本的な生活スキルを身につけるように支援します。お出かけ時の交通安全や防災訓練などを通じて日常の安全意識を高めます。カームダウンスペースやスヌーズレンなどを利用し、感情のコントロールを身につけ、心の健康も支援します。子供に応じた身の自立に向けた支援を行います。	
	運動・感覚	触覚を刺激する道具や遊び、バランスボールや平均台を使用した活動で感覚統合やバランス感覚を鍛えます。楽器や音が出る玩具を使用したリズム遊びや感覚遊び、音楽に合わせたダンス等を通じて音楽の楽しさや体を動かす楽しさを養います。又、複数人で行うことでみんなと一緒に行事の楽しさを積み重ねていきます。公園へのお出かけを通じて、四季を感じて自然とふれあいます。鬼ごっこなどを動かす遊びを通じて、楽しみながら体力と感性、協調性を養います。	
	認知・行動	パズルや知育玩具を使用し、記憶力やマッチングする力、手先を使う事を意識して支援します。ダイヤモンドアートなどを使用して、文字や色とのマッチング、微細な作業を通じた手先の運動を支援します。個別のプリント学習や宿題のサポートで学習に臨む気持ちを高めたり、基礎的な学習能力を維持できるように努めます。療育活動には役割を持って参加をすることで、コミュニケーションや児童同士の協力の仕方を学びます。タイマーの活用により、時間の感覚や自己調整能力、見通し持つ力が身につくように支援します。	
	言語コミュニケーション	日常会話の正しいことばの使い方や、その場にあった言葉やコミュニケーションがとれるように支援します。相手の話を最後まで聞くこと、聞いて自分で理解をすること、理解したうえで自分の気持ちを伝えることができるように支援します。発語が難しい場合、カードやジェスチャーなどを利用し、本人が表現しやすい方法を見つけていきます。円滑なコミュニケーションがとれるようになり、ストレスの少ない生活が送れるように支援します。	
	人間関係社会性	場面にあった挨拶や感謝「ありがとう」や謝意「ごめんなさい」が伝えられ、人との気持ちの良い関わり方が出来るように支援します。日々の活動を通じて自分の気持ちや困った事を発信する練習を行います。困ったときには助けを求めることができ、助けてもらえる人を目標とします。活動や遊びを通じて、児童同士のやり取りを楽しみながらチームワークと協調性を育みます。成功体験の共有や相手を思いやりサポートすること、友達を褒めたり、感謝されることで自己肯定感を高め、お互いの成長へ繋がります。	
家族支援	送迎時に家庭や学校の様子を確認し、療育活動への関わりに繋がります。6か月に1回以上のモニタリングを通じてお子様の成長や課題について、保護者と話し合い、子供だけではなく、保護者の不安やしんどさなどを聞き取り支援していきます。療育活動の様子や頑張ったこと、成功体験を保護者へ伝え、お子様の成長を届けます。利用時に気になる事があればすぐに保護者へ報告、聞き取り、確認を行います。子供の発達上の課題と気づきを促し、家庭と連携してその後の支援に繋がります。	移行支援	保護者が数年後の子どもの姿をイメージできるようにします。具体的な移行を想定した子どもの発達の評価を行い、クリアする必要のある課題について話し合います。保護者、子どもそれぞれの意向を確認していきます。状況の共有を行います。
地域支援・地域連携	地域の公園や公共施設を利用し、地域資源を活用します。学校や相談支援事業所、他の福祉事業所、民生児童委員、社協と連携し包括的な支援体制を整えます。地域にある事業所であること周知していき、地域の防災訓練に参加し、災害時の対応力を高めていきます。	職員の質の向上	定期的な研修へ参加します。外部研修の情報収集、研修参加により、最新の知識と子どもの特性に応じた対応など実践的なスキルを学び、職員の質の向上に努めています。療育活動を通じて職員間の協力体制と気づきを深めています。働きやすい環境の整備やワークライフバランスの推進に努め職員のストレス軽減に努めています。
主な行事等	【季節行事】 お正月、節分、ひな祭り、子どもの日、七夕、盆踊り、ハロウィン、クリスマスなど季節を取り入れた製作活動や療育活動 夏祭り (縁日) やクリスマスなど季節に応じたパーティーを準備し、楽しみます。 簡単なおやつ作りをして楽しみます。 【季節のお出かけ】 桜、ひまわり畑、コスモス畑、紅葉、イチヨウなど季節や自然を感じれる場所へ行きます。 正月には地域の神社への初詣もへ行きます。 【遠足活動】 ※不定期 日常の活動範囲から少し離れて、動物園や工場見学などへ行きます。		